

佐野厚生総合病院を受診された皆様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

通常の診療で得られた過去の診療記録や残存検体等を使用しております。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得る代わりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。また、研究結果を学会等で発表することがありますが、個人を特定する情報は公開されません。

なお研究への協力を希望されない場合は、下記お問い合わせの担当者までお知らせください。

研究課題名	入院時の栄養状態が大腿骨近位部骨折患者の転帰先へ与える影響
当院の診療科・研究責任者	リハビリテーション科 理学療法士 青木 健
他の研究機関	なし
本研究の目的	先行研究では急性期病院に入院する患者においてリハビリテーション開始時点で約60%が低栄養であったという報告があります。しかし当院での現状は把握できておりません。そのため当院で大腿骨近位部骨折と診断され手術後にリハビリテーションを行った方の、入院時の栄養状態や身体的特徴の違いがどのように転帰先へ影響するのか調査します。
研究期間	当院倫理委員会 承認日～2025年10月24日
研究の方法（対象となる方）	2022年4月から2024年9月までに大腿骨近位部骨折の診断で自宅から入院し、手術およびリハビリテーションを行った患者。
研究の方法（利用する情報）	電子カルテより年齢、性別、診断名、入院期間、転帰先、手術待機期間、同居家族の有無、入院中の骨格筋指数（SMI）・体格指数（BMI）・採血データ（アルブミン、総蛋白、ヘモグロビン）・認知機能（HDS-R）、手術後1週間時点の歩行能力、栄養状態の評価としてMNA-SF。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除致します。（利用する情報に個人を特定する情報は一切含まれておりません。） 研究結果を学会等で発表する可能性がございますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用致しません。
本研究の資金源（利益相反）	本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。
お問い合わせ先	研究への利用に関する質問や、個人情報提供を拒否する場合などの連絡先 【担当者】 リハビリテーション科 理学療法士 青木 健
備考	